

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人ほほえみ	代表者	上野利恵子	法人・事業所の特徴	小規模多機能ホームなごみでは、介護が必要な状態になった時でも住み慣れた地域での生活を継続していけるよう、「通い」「訪問」「宿泊」を柔軟に組み合わせてサービスを提供します。また、サービス付き高齢者向け住宅を併設し、小規模多機能のサービスと組み合わせて24時間安心した生活を提供しています。
事業所名	小規模多機能ホームなごみ	管理者	庄島司		

出席者	市町村職員	知見を有する者	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	0人	1人	0人	2人	2人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	次回外部評価の際事業所自己評価ミーティングの職員の参加の数、参加率を事業所の自己評価表にも欄を追加して記載し、円滑に外部評価を実施します。	・事業所ミーティング様式において事業所の職員数と事業所自己評価に参加した職員数を明確にすることで事業所自己評価に全職員が参加していることを伝えることができました。	・地域かかわりシート①の中に改善計画に対する取組みをどのように行ったのかを知ることができない項目がない為「わからない」の返答が多かったと思います。	・地域かかわりシート①を配布する時は改善計画に対して取り組んだ内容がわかるように記入した用紙を配布します。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域資源を活用したり、地域住民との交流の機会を作ることで、家族・利用者以外の地域の方々にも開かれた事業所となることで訪れやすい・居心地のいい事業所を目指します。	・利用者の希望や意向に沿って、外出介助での地域の社会資源の活用のための支援を行うことで地域の方々を訪れたりする機会が多くなりました。	・事業所に入りやすい工夫については、しつらえだけでなく地域の方々との顔見知りの関係であるかによっても変わってくると思います。 ・地域との関係性を築く工夫として、地域団体に対して事業所の場所を提供する事で地域の方々を訪れやすいようにしている事業所もあります。	・職員が地域行事に関わっていくことで地域の方々との顔見知りの関係を築き、地域の方々を訪れやすい事業所を目指します。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所は地域の行事へ利用者と訪れ、徐々に地域住民との関係を構築していくことで、地域の方々にも必要とされる相談しやすい事業所を目指します。また、事業所内外でも挨拶は明るく笑顔で丁寧に、目と目を合わせて行っています。	・あいさつについては、事業所内外で明るく笑顔で丁寧に目と目を合わせて行うことができました。 ・法人の相談窓口の一つとして地域の方々の困りごとへ相談があった時には積極的に対応しています。	・あいさつは、前年度より良くなっていると思います。 ・地域貢献として、高齢者の活動の場に対する送迎を行っていることで地域の方々にも認知されてきていると思います。	・「隣組」に加入することで地域に関わる機会を設けて、地域の方々との顔なじみの関係を築き相談しやすい関係性を目指します。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所は利用者が地域での暮らしを、希望に応じてできる限り継続していけるよう、意向に沿って外出等地域へ出向く機会の確保を行っています。また、運営推進会議を利用して地域の方々へもその様子を報告し、地域の方々からの心配事へもできる限り関わっていきます。	・利用者の希望や意向に沿って、できる限り外出の機会を確保しました。 ・運営推進会議の機会を利用して、地域の方々へ利用者へのサービス提供状況を伝えながらサービス提供のあり方についても意見を反映することができました。 ・運営推進会議の中で利用者以外の地域の心配な方の事例を検討しました。	・事業所の都合等によって、地域の行事やイベントに参加することができませんでした。また利用者によっては参加を希望されない事もありました。	・利用者の希望にそって、地域行事へ参加ができるよう事前に計画を立てて勤務等を調整することで行事参加と、参加のための支援を行っています。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議では、事業所内での課題や報告にとどまらず、地域の課題にもできる限り関わりを持って、地域での取組みへの参加を行っています。また運営推進会議で出た意見を真摯に受け止め、改善が必要な場合は迅速に改善へと対応していきます。	・運営推進会議の内容の充実と会議の雰囲気作りをすることで、より多く意見を得ることができました。また、運営推進会議で得た意見をできる限り迅速に検討して運営に取り入れる事ができました。	・運営推進会議の内容については前年度より説明も分かりやすくなっていて向上することができていると思います。	・運営推進会議や地域ケア会議を通して地域の心配な方の情報を把握し、できる限り関わりを持って相談等の対応をしていきます。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所は災害等、緊急を要する時に利用者だけに限らず、地域の支えになるよう積極的に受け入れ宿泊への対応、避難所としての役割を担います。	・震災を機に、運営推進会議を通じて災害時の事業所の役割を地域の方々へ伝える事ができました。 ・事業所の防災訓練を地域の方々へお知らせすることができませんでした。	・事業所の防災訓練の際には、地域の回覧板等を利用して地域の方々への参加を促す事もできます。また消防車など子供が見て喜ぶもので地域の子供たちも事業所へ呼び込む事ができると思います。	・年2回の防災訓練の際には回覧板等を使用して、地域の方々への参加を促すことで地域での事業所の役割を伝えていきます。